

新企画

# 事例 検討会

嬉野医療センター 山崎孝太

安西会長の企画で、私達は今回の学術集会で新たに、「事例検討会」セッションを行いました。7月29日・30日の2日間、各3時間にわたり、それぞれ約50名にご参加いただきました。

両日とも前半2時間は、「45歳発症2型糖尿病患者のNさん」が、45～80歳で認知症・独居となっていくまでの過程を症例として、これに対して糖尿病診療チームとして「あなた」に何が出来るか、全国各地から集まった各グループメンバーと共に話し合いました。

その中で各グループはそれぞれが、初対面とは思えないほどの糖尿病診療チームへと発展していき、中には「このグループのメンバーで病院を開こうと思います!」という声が出るほどにまで、チーム力が増していきました。

後半はその各グループで、中核病院所属と仮定して、糖尿病診療チームを作り、育てていくために必要なことを話し合いました。表に裏に、参加者の経験と苦勞の共有ができ、中には“涙”を流しつつの本音の共有と励まし合いができた場となりました。

進行役



川崎市立川崎病院  
津村和夫



嬉野医療センター  
山崎孝太



九州大学大学院医学研究院  
吉成匡人



佐賀大学医学部附属病院  
永瀬美樹



佐賀大学医学部附属病院  
中島茜

患者役は何と、この先生!



## 事例検討会の流れ

### ●前半

#### シーン1

- ・津村先生より
- ・アイスブレイク
- ・症例提示およびロールプレイ (N氏45～48歳)
- ・症例提示 (N氏48～70歳)
- ・ディスカッション
- ・グループ発表 (2～3分×4グループ)
- ・ミニレクチャー

#### シーン2

- ・症例提示 (N氏80歳)
- ・ディスカッション
- ・グループ発表 (2～3分×4グループ)
- ・ミニレクチャー

### ●後半へ



## 話し合いで考えてほしいこと

### こんな時あなたならどうしますか?

(自分であれば…何から取り組む) 各自で記載

- ①最初の1年間で取り組むことは?
- ②その後の数年間で取り組むことは?
- ③最終的に目指す姿とは?

まず1人ひとりで記載 (5分間)

### 糖尿病療養指導の課題を知る

### 糖尿病療養指導の関係者を知る

↓

誰が何を得意としているのか?  
誰が何を知らないのか?  
誰が何を知りたいのか?  
自分たちが標準なのか?

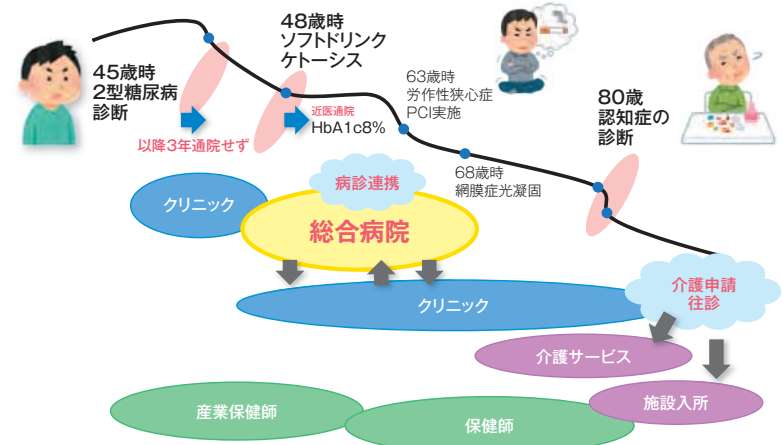


### ディスカッションのポイント

- ①なぜ、〇〇〇を最初の一步に設定?
- ②うまくいった経験がありますか? (1名のみ2分以内)
- ③失敗した経験 (1名のみ2分以内)
- ④障壁を取り除くために、何が必要?



## 患者さんを適切に支えることができる「総合病院」の職員でありたい!



## 事例検討会ファシリテーター一覧

安西 慶三	医師	佐賀大学医学部
津村 和夫	医師	川崎市立川崎病院
山崎 孝太	医師	嬉野医療センター
吉成 匡人	医師	九州大学大学院医学研究院
永瀬 美樹	看護師	佐賀大学医学部附属病院
中島 茜	管理栄養士	佐賀大学医学部附属病院
上妻 嵩英	医師	川崎市立川崎病院
森岡 紘子	医師	川崎市立川崎病院
鈴木 昂名	医師	川崎市立川崎病院
松田 やよい	医師	佐賀大学医学部
井上 佳奈子	医師	佐賀大学医学部
井上 瑛	医師	佐賀大学医学部
小島 基靖	医師	済生会唐津病院
高木 佑介	医師	東佐賀病院
岡川 章太	医師	公立玉名中央病院
高橋 一子	看護師	川崎市立川崎病院
川島 幸美	看護師	総合新川橋病院
藤井 純子	看護師	佐賀大学医学部附属病院
内川 恵美	看護師	東佐賀病院
森山 照代	看護師	嬉野医療センター
福島 由佳	看護師	嬉野医療センター
江頭 早苗	看護師	小城市民病院
中村 久美	看護師	東佐賀病院
諸岡 智子	看護師	唐津赤十字病院
坂本 三奈子	看護師	唐津赤十字病院
土井 路子	薬剤師	横須賀共済病院
江本 晶子	薬剤師	佐賀大学医学部附属病院
菅原 和美	管理栄養士	松澤内科・糖尿病クリニック



進行役とファシリテーターが、総出で企画しました!